

ネパール王国
カトマンドウ市交差点改良計画
予備調査報告書

平成 12 年 2 月

国際協力事業団

序文

日本国政府はネパール王国政府の要請に基づき、同国のカトマンドゥ市交差点改良計画にかかる予備調査を行うことを決定し、国際協力事業団が株式会社片平エンジニアリングインターナショナルとの契約により実施しました。

当事業団は、平成11年11月28日から12月23日まで予備調査団を現地に派遣しました。

この報告書が、今後予定されている基本設計調査の実施、その他関係者の参考として活用されれば幸いです。

終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成12年2月

国際協力事業団
理事 目崎 八郎

目 次

位置図
写真資料

第1章 要請の背景および経緯	1
第2章 プロジェクトの概要	2
2.1 当該セクター	2
2.1.1 運輸セクターの現状	2
2.1.2 上位開発計画の概要とプロジェクトとの関係	7
2.1.3 ドナー国・機関等の援助動向	11
2.1.4 我が国の援助動向	14
2.2 本計画の概要	15
2.2.1 目的	15
2.2.2 要請対象交差点と要請内容の確認	15
2.3 本計画の実施体制	18
2.3.1 組織	18
2.3.2 予算	21
2.4 プロジェクトサイトの状況	22
2.4.1 位置	22
2.4.2 自然条件	22
2.4.3 交通の現況	24
第3章 要請交差点の現状と課題	26
3.1 要請関連交差点実施済み案件の現状と課題	26
3.1.1 交差点の位置	26
3.1.2 要請関連交差点実施済み案件の現状と課題	26
3.2 対象交差点の現状と問題点および対策の概要	35
3.2.1 カトマンドゥ市中心部	35
3.2.2 郊外部	37
3.2.3 ラリトゥプール市内	39
第4章 協力対象交差点の選定および優先度	40
4.1 選定基準および優先度判定基準	40
4.2 協力対象交差点の選定および優先度判定結果	41
4.3 協力内容	42

第5章 環境および用地収用に関する法令等の調査	49
5.1 環境に関する法令等の調査	49
5.2 用地収用に関する法令等の調査	50
第6章 適正な協力範囲・規模	52
6.1 無償資金協力案件としての必要性・妥当性	52
6.2 適切な協力範囲・規模	52
第7章 本格調査実施の方向性	53
7.1 基本方針	53
7.2 調査の内容、範囲、留意事項および調査団の構成	54
7.3 調査実施上の問題点	58
第8章 事業実施上の問題点	60
8.1 用地取得	60
8.2 ローカルコストと技術水準	61
8.3 環境影響評価	61

付録

1. Minutes of Discussions
2. 面談者リスト
3. 調査日程
4. 調査団員リスト
5. 各交差点交通量
6. 収集資料リスト

第1章 要請の背景および経緯

ネパールの首都であるカトマンドゥ市は、ヒマラヤとマハバラト連山に囲まれた盆地に位置し、政治・経済・工業の中心である。カトマンドゥ盆地は、都市のスプロール化、不十分な都市施設、人口および交通量の急増など種々の問題を抱えている。

カトマンドゥ市は、道路施設の損傷、劣化が進行していると同時にピークアワー以外の時間帯においても交通混雑をもたらしており、都市交通環境が悪化してきている。特に、交差点が通過交通に対してボトルネックとなっており、交差点とその周辺交通渋滞を引き起こしている。この都市交通環境の悪化は、交通事故や排気ガスによる空気汚染の増大、都市アメニティの低下の原因となっており、市民活動に深刻な影響を与えている。

ネパール政府は、カトマンドゥ盆地の交通条件の改善の重要性を認識しているが、問題を解決するための効果的で持続的な対策が行われていない。

以上の背景からネパール政府は、日本国政府に交差点の改良を要請してきたものである。要請内容は、JICA で実施した「ネパール国カトマンズ都市交通計画調査 マスタープラン調査 1993年3月」で提案された改良対象交差点を含めた25ヶ所の交差点の改良となっている。